



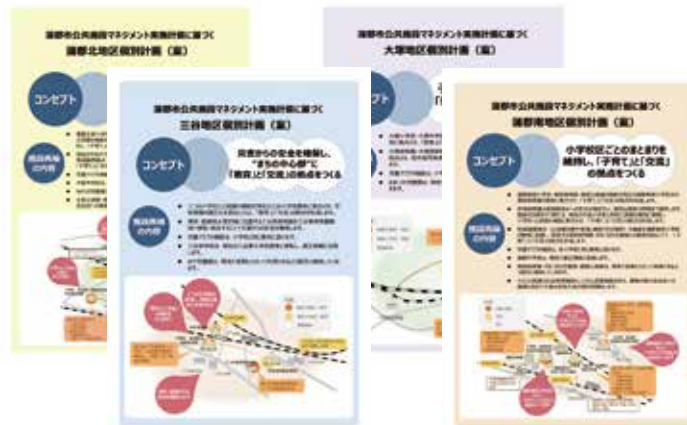
# 蒲郡市公共施設マネジメントニュース

## 大塚・三谷・蒲郡南(蒲郡中学校区)・蒲郡北(中部中学校区)地区の 地区個別計画を策定しました

蒲郡市では、地区にお住まいの方が主な利用者となる地区利用型施設について地域の特性や特徴を施設に反映し、再編がまちづくりにつながるよう、中学校区ごとに住民の皆さまのご意見を踏まえた「地区個別計画」の策定を進めています。

平成30年8月に策定された塩津地区と西浦地区に続き、今回4つの地区で地区個別計画を策定し、これで市内7中学校区のうち6地区が完成しました。

残る形原地区では、来年度に地区個別計画を策定する予定です。



### まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

4地区にお住まいの皆さまにお集まりいただきワークショップを実施しました。どの地区においても地区の課題や今後のまちづくり、公共施設について熱心に話し合いを行いました。



### オープンハウス

ワークショップに参加していない地区の皆さんにもご意見をいただき、オープンハウス(パネル展示型説明会)を実施しました。



### かわら版

ワークショップ各回の検討内容をお知らせし、同時にご意見の募集を行いました。「広報がまごおり」とともに地区内の全世帯に配布しました。



これらの取り組みを通じて、たくさんのご意見をいただきました

### 地区の皆さまの思い(抜粋)



大塚地区

- ・2保育園の統合で低年齢児や保育時間等のサービスを向上してほしい。
- ・高校生・大学生の居場所がない。彼らが来なくなる空間があると、他世代と顔を合わせることができる。



三谷地区

- ・三谷小学校は地区の中心にあるので立地がよく、歴史も古くて地域の象徴的な位置づけだ。
- ・三谷西保育園は海に近くて災害の危険性が高いので、安全な立地に移転すべきではないか。



蒲郡南地区

- ・小学校と保育園が隣り合っていると、一度に送迎ができ、保護者はかなり楽になる。
- ・子育て施設と高齢者の利用する施設を集めれば、新たな交流が生まれ相乗効果があるのではないか。



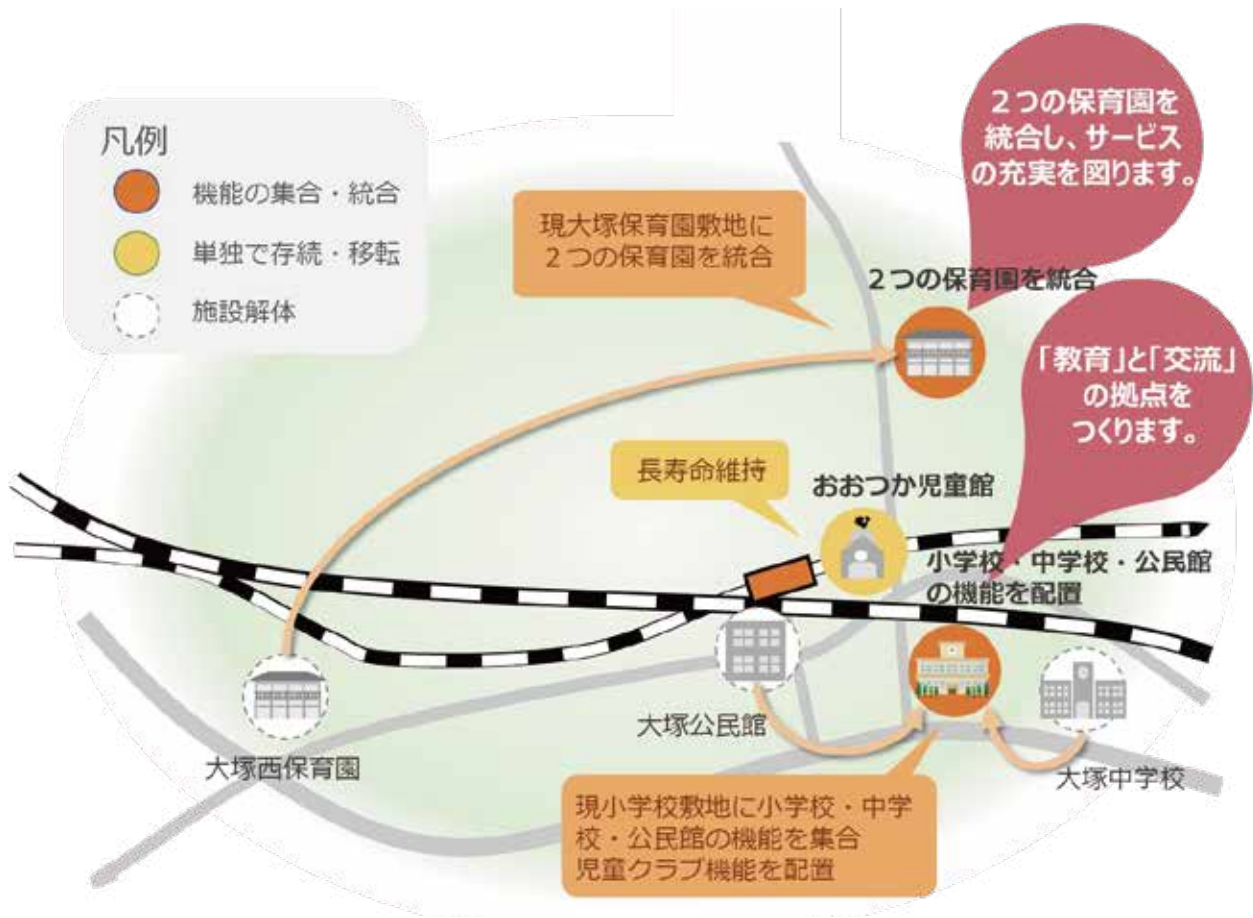
蒲郡北地区

- ・小学校がクラス分けできる規模となるのは教育環境の面でよい。
- ・交通安全と防犯、2つの側面から通学の安全を考えてほしい。

# 大塚地区個別計画

## コンセプト

子育て機能を充実させ、「教育」と「交流」の拠点をつくる



## 施設再編の内容

- 大塚小学校・大塚中学校・大塚公民館の機能を現在の大塚小学校の敷地に集合させ、「教育」と「交流」の拠点を形成します。

- 大塚保育園・大塚西保育園はより高台にある現在の大塚保育園の敷地に統合させ、低年齢児保育と延長保育が実施可能な規模の保育園を整備します。
- 児童クラブの機能は、小学校と同じ敷地に設けます。
- おおつか児童館は、現地で長期にわたって利用できるよう適切に維持していきます。

## 期待される効果

### 教育環境の充実

小中学校の連携による学校行事の盛り上がり

### 子育て環境の充実

保育園を統合・規模適正化し、低年齢児保育や延長保育を実現

### 交流の活性化

小・中学校・公民館の集合による世代間交流の活性化

### 費用の縮減

運営の効率化や施設の一元管理

## 今後の取り組み

### 大塚小学校 + 大塚中学校 + 大塚公民館の新施設

基本計画づくり

・敷地内の機能配置検討 ・管理運営方法検討 など

設計・工事等の具体的な時期は施設の老朽化や財政状況等を踏まえて検討

### 大塚保育園 + 大塚西保育園

現大塚保育園敷地で施設整備後に統合

### おおつか児童館

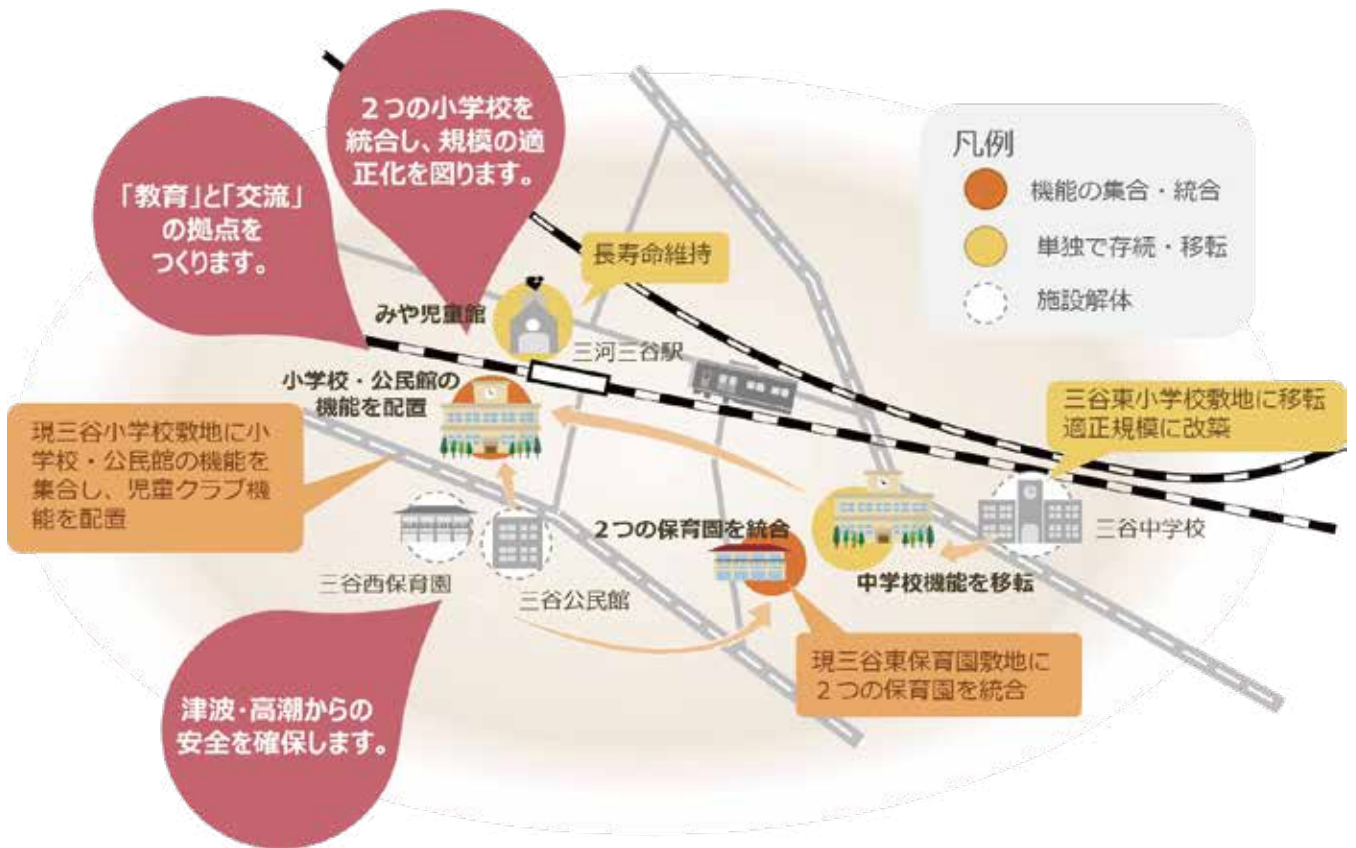
現地で存続



# 三谷地区個別計画

## コンセプト

災害からの安全を確保し、“まちの中心部”に「教育」と「交流」の拠点をつくる



## 施設再編の内容

- 2つの小学校と公民館の機能を現在の三谷小学校敷地に集合させ、学校規模の適正化を図るとともに、「教育」と「交流」の拠点を形成します。

- 津波・高潮浸水想定域に位置する三谷西保育園を三谷東保育園敷地へ移転・統合することで災害からの安全を確保します。
- 児童クラブの機能は、小学校と同じ敷地に設けます。
- 三谷中学校は、現在の三谷東小学校敷地に移転し、適正規模に改築します。
- みや児童館は、現地で長期にわたって利用できるよう適切に維持していきます。

## 期待される効果

### 教育環境の充実

小学校の統合により切磋琢磨する環境の充実

### 安全性の確保

海拔の高い敷地への移転により、災害時の被災リスクを軽減

### 地区のまとまり

古くからのまち中心部(三谷小学校)に拠点をづくり、住民同士の交流活発化

### 費用の縮減

運営の効率化や施設の一元管理

## 今後の取り組み

### 三谷小学校+三谷東小学校+三谷公民館の新施設

基本計画づくり

・敷地内の機能配置検討 ・管理運営方法検討 など

設計・工事等の具体的な時期は施設の老朽化や財政状況等を踏まえて検討

### 三谷東保育園+三谷西保育園

現三谷東保育園敷地で施設整備後に統合

### 三谷中学校

現在の三谷東小学校敷地へ移転・適正規模に改築

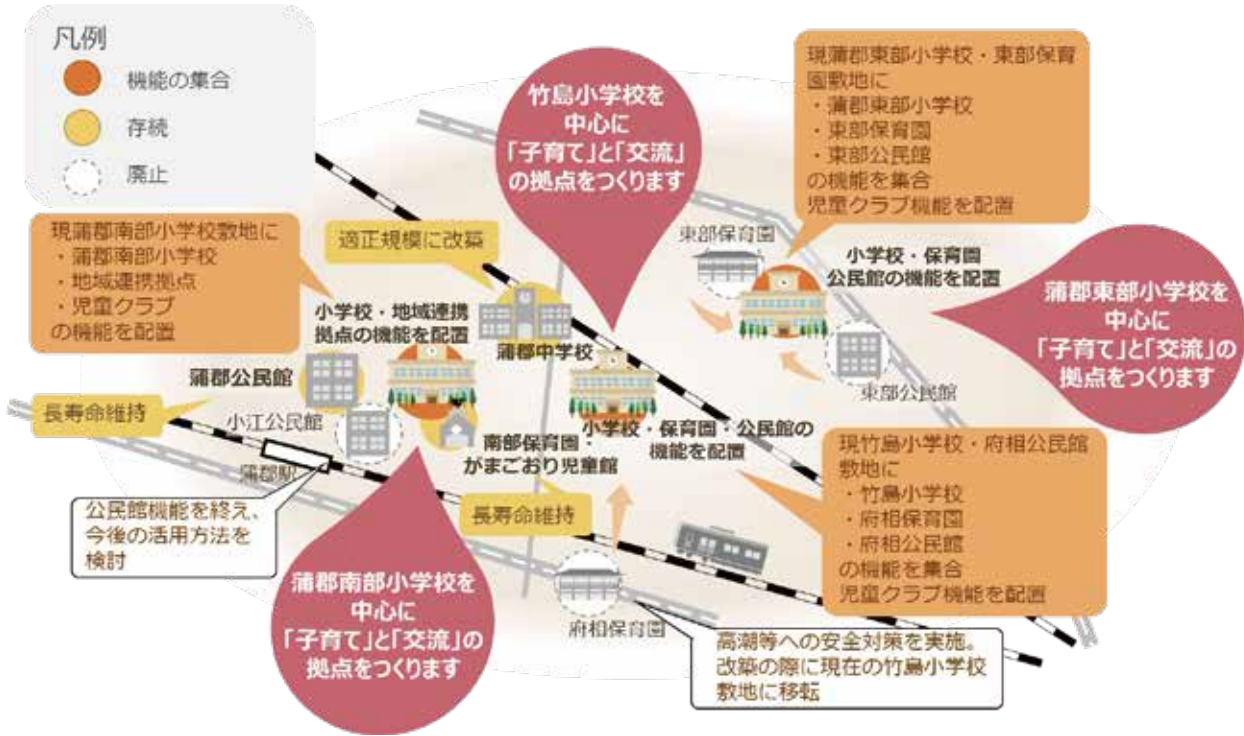
### みや児童館

現地で存続

# 蒲郡南地区個別計画

## コンセプト

小学校区ごとのまとまりを維持し、「子育て」と「交流」の拠点をつくる



## 施設再編の内容

● 蒲郡東部小学校・東部保育園・東部公民館の機能を現在の蒲郡東部小学校及び東部保育園の敷地に集合させ、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。

- 府相保育園は高潮等浸水への安全対策を行い、適切な建替え時期まで維持します。施設の改築を行う際には、現在の竹島小学校と府相公民館の敷地に移転し、小学校・公民館の機能と集合させ、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 地域連携拠点(公民館活動や地域と連携できる場所)の機能を蒲郡南部小学校の敷地に設置し、隣接する南部保育園・がまごおり児童館との連携を図ることで、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 児童クラブの機能は、各小学校と同じ敷地に設けます。
- 蒲郡中学校は、現地で適正規模に改築します。
- 南部保育園・がまごおり児童館・蒲郡公民館は、現地で長期にわたって利用できるよう適切に維持していきます。
- 小江公民館は社会教育施設としての公民館機能を終え、建物の地元自治会への譲渡も含めて今後の活用方法の検討を開始します。

## 期待される効果

### 子育て環境の充実

小学校、保育園、児童クラブが同じ敷地に設置されることによる移動時の安全確保や保護者の送迎負担の軽減

### 交流の活性化

集まりやすい位置に日常的な拠点ができると交流活発化

### 活動の拡大・充実

施設や設備の相互利用や運営面での連携による各施設の活動の拡大・充実  
高齢者の活動参加や子育て世代が同世代で集まる機会など、活動機会の増加

### 費用の縮減

運営の効率化や施設の一元管理

## 今後の取り組み

### 蒲郡東部小学校 + 東部保育園 + 東部公民館の新施設

#### 基本計画づくり

・敷地内の機能配置検討 ・管理運営方法検討 など

設計・工事等の具体的な時期は施設の老朽化や財政状況等を踏まえて検討

#### 府相保育園

高潮等への安全対策  
→適切な時期に竹島小学校敷地へ移転

#### 蒲郡南部小学校

地域連携拠点・児童クラブ機能の設置

#### 小江公民館

公民館機能廃止、今後の活用方法を検討

#### 竹島小学校・府相公民館・蒲郡中学校・南部保育園・がまごおり児童館・蒲郡公民館

現地で存続



# 蒲郡北地区個別計画

## コンセプト

教育環境を向上させ、「子育て」と「交流」の拠点をつくる



## 施設再編の内容

● 蒲郡北部・蒲郡西部小学校、北部・西部保育園、北部・西部公民館の機能を現在の中部中学校の敷地に集合させ、学校規模の適正化を図るとともに、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。

- 現在の中央小学校の敷地に中央小学校・中部保育園の機能を集合させるとともに、地域連携拠点(公民館活動や地域と連携できる場所)の機能を設置することで、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 児童クラブの機能は、各小学校と同じ敷地に設けます。
- 中部中学校は、現在の蒲郡西部小学校の敷地に移転し、適正規模に改築します。
- ちゅうぶ児童館は、現地で長期にわたって利用できるよう適切に維持していきます。
- 北部・西部公民館は社会教育施設としての公民館機能を終え、建物の地元自治会への譲渡も含めて今後の活用方法の検討を開始します。

## 期待される効果

### 教育環境の充実

小学校の統合により、切磋琢磨する環境の充実

### 子育て環境の充実

小学校、保育園、児童クラブが同じ敷地に設置されることによる移動時の安全確保や保護者の送迎負担の軽減

### 活動の拡大・充実

施設や設備の相互利用や運営面での連携による活動の拡大・充実

### 費用の縮減

運営の効率化や施設の一元管理

## 今後の取り組み

北部と西部の小学校 + 保育園 + 公民館の新施設

中央小学校 + 中部保育園の新施設

基本計画づくり

・敷地内の機能配置検討 ・管理運営方法検討 など

設計・工事等の具体的な時期は施設の老朽化や財政状況等を踏まえて検討

中部中学校

現在の蒲郡西部小学校敷地へ移転・適正規模に改築

ちゅうぶ児童館

現地で存続

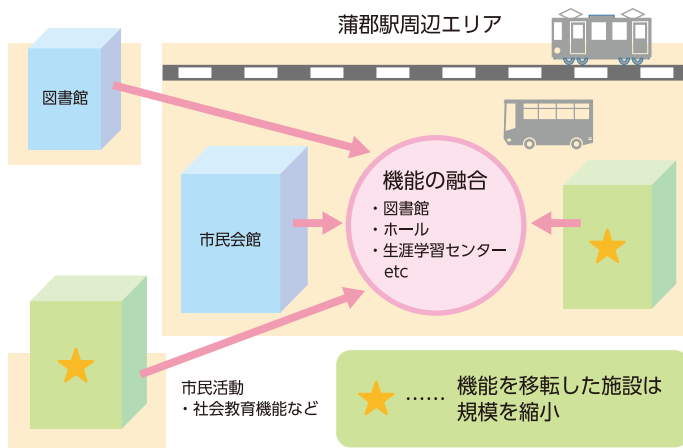
# 駅前に市民が主体の居場所を 公共施設リーディングプロジェクト進捗状況

市では、図書館機能やホール機能、生涯学習センター機能を核とした、市民の居場所や活動拠点となるような場を蒲郡駅周辺に整備する、「リーディングプロジェクト」を進めています。

皆さんは、どんな施設だったら「行きたいな」って思いますか。また、そこでは、どんなことができたらいいですか。蒲郡市が作る新たな施設は、既存の建物の形にはとらわれないものを目指しています。皆さんの「やりたい！」が詰まったオリジナリティあふれる施設を目指して、プロジェクトを進めていきます。



## どんな施設ができるの？



すでに機能融合が決まっているのは、図書館、ホール、中央公民館を中心とする生涯学習センターです。

このうち図書館は、愛知県内の図書館の中で特に古い建物です。そのため、利用者からは「設備の古さが気になる」「学習スペースが欲しい」など、新たな施設への要望を多くいただいています。また、現在市民会館にある大ホール・中ホールは、座面の劣化やバリアフリー対応、現在の利用状況に対して規模が過大ではないかといった課題を抱えています。

こうした課題を解決するとともに、今の時代に合った新たな機能を備えることで、市民の皆さんの「やりたい！」を実現できるような場を目指していきます。

また、費用面でいうと、現在のまま建替・更新をしていくと、その費用は大変な負担になりますが、機能の融合を図ることでより使いやすくコストを削減することもできます。

## 現在の施設の紹介

図書館



昭和44年建設。1階部分が児童室・展示スペース、2階に一般向けの配架と視聴覚資料のコーナーがある。展示スペースでは、墨彩画などの作品展示や地元とゆかりのある作者の作品の展示を行う。

市民会館



昭和48年建設。かつて、施設の一部（現在の東ホール、会議室）は結婚式場として使用されていたため、ホール内の照明がシャンデリアだったり、金屏風が設置されている。文化協会の事務局があり、文化活動の拠点も担う。



## どんな施設にしたい？ 市民参加の場「ワークショップ」



実際の利用者となる市民の皆さんの「こんな使い方をしたい」「こんな場所が欲しい」という理想の施設に近づくためには、ワークショップの場が効果的です。心の中で思っていることがあったとしても、口に出さないと実現には近づきません。「本当はこういう機能が欲しいな」と思っている人がいれば、ぜひワークショップで意見を聞かせてください。



### 第1回ワークショップ 市民フォーラム 開催！

11月5日(土)に、蒲郡商工会議所で第1回ワークショップを行いました。ワークショップに先立ち、都市計画のスペシャリストである弘前大学の北原特任教授をお迎えして市民フォーラムも行いました。北原先生の話を聞いた後は、新たな施設をつくるうえでプロデュースを行うデザイン会議のメンバーと鈴木市長を交えてシンポジウム。その後、熱量の高まったまま始まったワークショップでは、蒲郡愛にあふれた参加者の皆さんによる意見が飛び交いました。

## 募集 第2回市民フォーラム・第2回ワークショップ

### 市民フォーラム「文化香る蒲郡の公共施設を考えよう！」

とき 1月21日(土) 午後1時30分～2時50分

ところ 蒲郡市民会館東ホール

対象 どなたでも

- 内容 ①基調講演「新しい公共施設とは？ - 他地域の図書館やホール等の文化施設を参考に -」  
講師 清水裕之(名古屋大学名誉教授・前岡崎市民会館芸術監督)
- ②シンポジウム  
登壇 鈴木寿明(蒲郡市長)、恒川和久(名古屋大学教授)、  
安井秀夫(愛知工業大学教授)、平賀研也(たきびや/前県立長野図書館長)

### ワークショップ「ビジョンを描く」

とき 2月25日(土) 午後1時30分～

ところ 蒲郡市民会館2階会議室

対象 市内在住・在学・在勤の方

### 共通事項：申し込み

市民フォーラムは1月6日(金)までに、ワークショップは2月10日(金)までに電話及びインターネットから  
TEL：66-1214(公共施設マネジメント課)  
※前回は同日でしたが、今回は別々の日程です。

インターネット  
申し込みは  
こちら▼



Instagramでも  
配信中！みてね



## 形原地区 計画策定へ 検討進行中



7月から「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を形原中学校で開催し、各地区の幅広い世代、様々な立場の方にお集まりいただき、ご意見をいただいています。形原地区では、形原中学校の協力で、4人の形原中学校の生徒さんも参加しました。

人口減少や少子高齢化など社会状況が大きく変化する中で、将来を見据えたときに公共施設はどうあるべきか、どのような配置・使い方をするとより暮らしやすい地区になるのか、それぞれの方が将来について考え、今後も意見を出し合っていたいただきながら進んでいきます。



このワークショップのほか、ワークショップに参加していない方々のご意見をお聞きするため、地区内の多くの方が集まる場所(保育園、形原駅)でのパネル展示型説明会「オープンハウス」を開催しました。その他にも、形原中学校の授業にも、このテーマを取り上げていただきました。

また、ワークショップの各回実施後、「かわらばん」を地区内の全世帯に配布しています。

かわらばんをご覧になった方からの意見も随時募集しています！

### 検討対象施設

- ① 形原小学校
- ② 形原北小学校
- ③ 形原中学校
- ④ 形原保育園
- ⑤ 形原北保育園
- ⑥ 形原南保育園
- ⑦ かたはら児童館
- ⑧ 形原公民館



このニュースは、公共施設マネジメントの取り組みを広く市民の皆さまに知っていただくことを目的として発行しています。これまでの取り組みは、蒲郡市ホームページにも掲載しています。また、今回発行した「地区個別計画」は、各公民館・図書館・市役所公共施設マネジメント課で閲覧できます。

